

# 2023 年度自転車等規格標準化事業 JIS 改正検討作業部会 実施報告書

(一財) 自転車産業振興協会  
技 術 研 究 所

当会は、自転車 JIS 原案作成団体として、これまで多くの JIS 自転車規格の改正・制定・廃止作業を実施している。

2023 年度においては、自転車等規格標準化事業として JIS に係る諸案件を検討すべく、11 規格の作業部会を設置・開催、及び前年度に改正作業を実施した 2 規格の公示(改正)までの手続きへの対応を実施した。

## 1. JIS 改正検討作業部会

以下の11件の自転車JIS規格の改正について審議する作業部会。2023年1月に改訂された ISO4210-1~9との整合化を考慮し、前回JIS改正後からの内容の見直しを含め、本作業部会で審議を進めている。また、今回の改正で規格内の自転車部品用語を2020~21年度に「JIS 改正検討用語作業部会」において、ISO 8090 Cycles – Terminology (用語) との整合化を考慮して作成した自転車部品の用語集の内容に変更予定である。

JIS D 9301 : 一般用自転車

JIS D 9302 : 幼児用自転車

JIS D 9304 : スポーツ専用自転車

JIS D 9313-1 : 自転車—第 1 部:試験条件通則及び部品などの試験方法

JIS D 9313-2 : 自転車—第 2 部:制動装置の試験方法

JIS D 9313-3 : 自転車—第 3 部:操だ(舵)装置の試験方法

JIS D 9313-4 : 自転車—第 4 部:車体部の試験方法

JIS D 9313-5 : 自転車—第 5 部:走行装置の試験方法

JIS D 9313-6 : 自転車—第 6 部:駆動装置の試験方法

JIS D 9313-7 : 自転車—第 7 部:座席装置の試験方法

JIS D 9115 : 電動アシスト自転車

### (1) 会議等の開催

- ・ 第1回JIS改正検討作業部会

日 時 : 2023年6月9日(金)

場 所 : 自転車産業振興協会技術研究所 会議室、Web会議

議 題 : 改正検討作業部会の進め方

- ・ 第2回JIS改正検討作業部会

日 時 : 2023年7月28日(月)

場 所 : 自転車産業振興協会技術研究所 会議室、Web会議

議 題 : JIS D 9302 幼児用自転車 改正内容の審議

- ・ 第3回JIS改正検討作業部会

日 時 : 2023年8月30日(水)

場 所 : 自転車産業振興協会技術研究所 会議室、Web会議

議 題 : 第2回の残り議題、JIS D 9301、JIS D 9304 審議

- ・ 第 4 回 JIS 改正検討作業部会  
 日 時：2023年9月11日(月)  
 場 所：自転車産業振興協会技術研究所 会議室、Web会議  
 議 題：JIS D 9313-1、2審議
- ・ 第 5 回 JIS 改正検討作業部会  
 日 時：2023年10月2日(月)  
 場 所：自転車産業振興協会技術研究所 会議室、Web会議  
 議 題：JIS D 9302 グリップの要求事項、JIS D 9313-3、4審議
- ・ 第 6 回 JIS 改正検討作業部会  
 日 時：2023年10月30日(月)  
 場 所：自転車産業振興協会技術研究所 会議室、Web会議  
 議 題：JIS D 9115 電動アシスト自転車審議
- ・ 第 7 回 JIS 改正検討作業部会  
 日 時：2023年12月1日(金)  
 場 所：自転車産業振興協会技術研究所 会議室、Web会議  
 議 題：JIS D 9313-5 審議
- ・ 第 8 回 JIS 改正検討作業部会  
 日 時：2023年12月25日(月)  
 場 所：自転車産業振興協会技術研究所 会議室、Web会議  
 議 題：JIS D 9302 グリップの要求事項、JIS D 9115 電動アシスト自転車審議  
 (一充電当たりの走行距離の測定自動化に関する分科会を立ち上げ)
- ・ 第 9 回 JIS 改正検討作業部会  
 日 時：2024年2月16日(金)  
 場 所：自転車産業振興協会技術研究所 会議室、Web会議  
 議 題：JIS D 9313-6、7 審議
- ・ 第 10 回 JIS 改正検討作業部会  
 日 時：2024年2月28日(水)  
 場 所：自転車産業振興協会技術研究所 会議室、Web会議  
 議 題：JIS D 9313-7 、その他コメントについて審議
- ・ 第 1 回電動アシスト自転車 自動漕ぎ検証分科会  
 日 時：2024年3月13日(水)  
 場 所：自転車産業振興協会技術研究所 会議室、Web会議  
 議 題：技術研究所での自動漕ぎの検証結果の説明、各社の自動漕ぎに対する聞き取り

## (2)実施内容及び成果

11 規格の前回改正以降の見直し内容について、各委員より頂いたコメントをもとに行った審議が一通り終了した。2024 年度に審議内容の反映及び用語の見直しを行った改正案をもとに作業部会を開催し、2024 年度中の改正原案作成、2025 年度の公示（改正）を目指す。

重点的に審議した内容は、以下のようなものであった。

### ○ISO との整合化に関する内容

検証試験を実施し ISO との整合化及び ISO に対し先行した規格化について審議した。一例を以下に示す。

- ・ 繊維強化樹脂製サドルレールの静的強度試験
- ・ ステア付き前泥よけ試験
- ・ 制動性能試験（走路試験）
- ・ チェーンガードの要求事項
- ・ グリップの要求事項

### ○JIS 独自の見直し内容

自転車メーカー等への聞き取りにより、現状の JIS 規格からの見直しの要否について審議を実施した。

- ・ 電動アシスト自転車のスポーク折れに関する内容
- ・ ペダル駆動装置による一充電あたりの走行距離の自動測定（2024 年度に分科会で更に審議実施予定）

## 2. JIS D 9111、JIS D 9451 の公示（改正）

昨年度改正作業を行った 2 規格（JIS D 9111 分類、用語及び諸元、JIS D 9451 ベル）の改正について、1 月 19 日の第 29 回消費生活技術専門委員会にて承認され、3 月 21 日に公示された。

### ○JIS D 9111（自転車—分類，用語及び諸元）

整合規格である ISO 8090, Cycles—Terminology が 2019 年に、ISO 4210-1, Cycles—Safety requirements for bicycles—Part 1: Vocabulary が 2023 年に改訂となったため整合化を含む見直しを行った。

主な改正点は、次のとおり。

- ・ 自転車部品に関する用語を ISO 8090:2019 との整合性を考慮し、JIS 改正検討用語作業部会で決定した部品名称に変更した。
- ・ 自転車の分類方法を自転車の用途及び車種による分類に変更した。これに伴い、小径車、折り畳み車及び電動アシスト自転車を機能による分類とした。また、国内での各車種の普及状況などを考慮し、幼児二人同乗用自転車、BMX 車及びシクロクロス車を専用用途に分類し“その他の特殊自転車”を“特殊用途 特殊自転車”とし、該当する車種の見直しを行った。
- ・ 自転車のジオメトリに関する用語の定義が一意となるよう見直しを行い、ISO 4210-1:2023 で新たに定義された用語を追加した。また、消費者が自転車の購入時にフレームのまた（跨）ぎやすさを一律に比較できるよう自転車の“マタギ高さ”を新たに定義した。
- ・ 旧規格（JIS D 9111:2016）からの変更点をまとめた附属書 JB を追加した。

○JIS D 9451 (自転車ーベル)

2015年にISO14878, Cycles -Audible warning devices-Technical specification and test methods)が制定されたため整合化を含む見直しを行った。

主な改正点は、次のとおり。

- ・音圧レベルの要求事項を、“75 dB (A) 以上” から “75 dB (A) 以上 95 dB (A) 未満” に改めた。音圧レベルの上限値について現状の日本国内で流通しているベルの音圧レベルについて確認した結果、ISO規格のclass IIの上限である85 dB (A)以上の製品も存在したが、class Iの上限である95 dB (A)以上の製品は確認できなかったため95 dB (A) 未満とした。
- ・一部の試験手順が明確でなかったため、要求事項と試験方法が1対1の対応になるように項目を整理した。
- ・ベルの部品名称については、各メーカー間での不一致等があるため、統一できる名称に変更し、機械要素の部品名称は削除した。

—以 上—